



思考力・判断力・表現力を育てる！

都立八王子特別支援学校 平成28年度研究テーマ

「一人一人のこばの力を高める授業づくり」

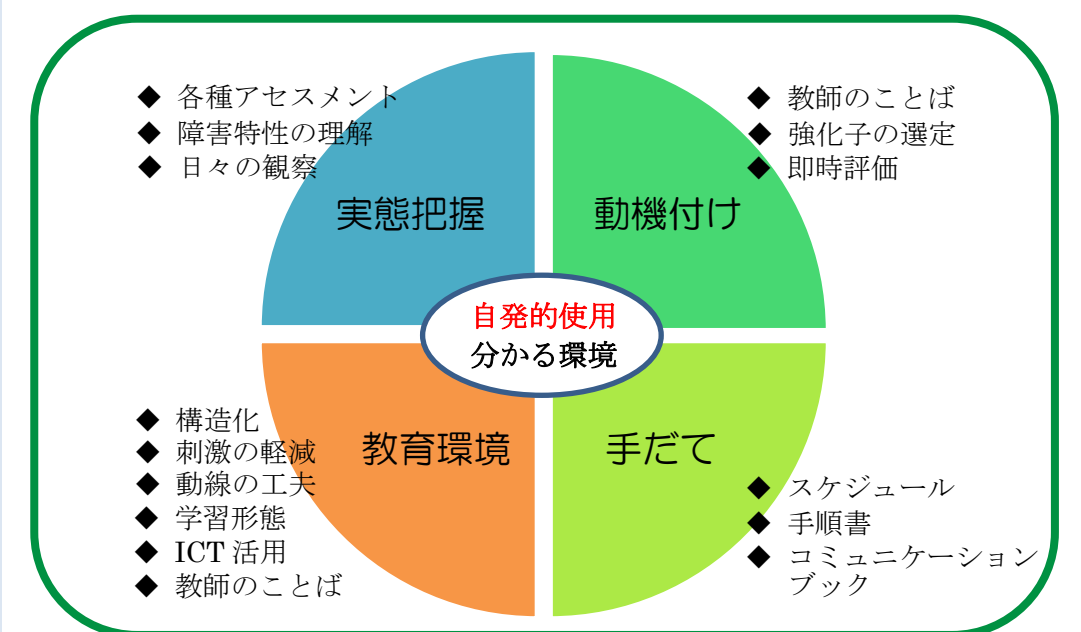
～教科指導を通して育てる思考力・判断力・表現力～

昨年度までの研究成果

これまでの研究活動を通して、アセスメントに基づいた根拠のある指導内容の検討や、学習活動に必要な環境や手だてについて、整理を進めました。

E B E (Evidence Based Education 根拠のある教育) の実践

できることとできないことを見極めて適切な課題を設定し、自発的な活動のある授業づくりに取り組んできました。



分かる授業のための4つのベース

上図は全校研究から導き出された分かる授業のための4つのベース（自立活動）です。今年度は全ての授業に必要な4つの要素を組込んで教科指導等に当たっています。

八王子特別支援学校の指導信条

“自分でやらなければ、できるようにならない！”

自立活動

教科指導

「社会に開かれた教育課程」の実現を目指すカリキュラムマネジメント

知的障害教育における『育成すべき資質・能力』を踏まえた教育課程の創造

今年度の研究概要

今年度は、研究成果として導き出された「分かる授業のための4つのベース」を校内のスタンダードとして押さえながら、各教科授業において、児童・生徒が思考・判断し、表現できる授業づくりを実践できるよう、教科ごとのグループに分かれた授業研究を通して、研究を進めています。

思考力・判断力・表現力を育てる教科指導の追求

研究テーマにおける「こば」とは

音声、非音声に限らず、絵や写真などの視覚的な情報交換やクレーンなどの顕在的な行動だけでなく、思考・判断のために頭の中で処理している言語的な内容も含んだ、広い意味で捉えています。

「こば」を活用して、児童・生徒が「思考・判断・表現」できる授業の実践

- 授業における指導技術の向上を、児童・生徒の「思考・判断・表現」に焦点を当てて研究を進める。
- 分かる授業のための4つのベースを土台に、児童・生徒が「分かって動く」から「考えて動く」授業への転換を図る。
- 各教科における、特徴的な指導方法、指導技術についても研究を進める。

次期学習指導要領改訂の方向性

【新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実】

- 学びに向かう力、人間性の涵養
- 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成
- 生きて働く知識・技能の習得

【新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた教科・科目の新設や目標・内容の見直し】

- 各教科等で育む資質・能力の明確化し、目標や内容を構造的に明示

【主体的・対話的で深い学び（「アクティブラーニング」）の視点からの学習過程の改善】

- 生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力の育成
- 知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善